

It looks like it will rain.

How is your family?

つぶやき 英語練習帳

The date is too late.

リサ・ヴォート

Lisa Vogt



大和書房

つぶやき 英語練習帳

リサ・ヴォート

Lisa Vogt



大和書房

Lisa Vogt リサ・ヴォート

アメリカ・ワシントン州生まれ。メリーランド州立大学で日本研究準学士、経営学学士を、テンプル大学大学院にてTESOL(英語教育学)修士を修める。2007年から2010年まで、NHKラジオ「英語ものしり倶楽部」講師を担当。現在は、明治大学特任教授として、通訳、翻訳、新聞・雑誌のエッセイ執筆など多岐にわたって活躍。また、プロの写真家として世界6大陸50か国を旅し、北極圏でのシロクマ撮影でBBC賞を受賞。著書に『超一流の英会話』『魔法の英語 耳づくり』(Jリサーチ出版)、『メモで身につく日常英語』(実業之日本社)、『もう困らない! 「英語で接客」ができる本』(大和書房)などがある。



えい ご れんしゅうちょう

つぶやき英語練習帳

2014年6月25日 第1刷発行

著者 リサ・ヴォート

発行者 佐藤 靖

発行所 だいわ 大和書房

東京都文京区関口1-33-4

電話:03-3203-4511

ブックデザイン MARTY inc.

イラスト モリナオミ

CD収録・編集 爽美録音

本文印刷 シナノ

カバー印刷 歩プロセス

製本 ナショナル製本

付録のCDに関して

- ・CDプレーヤーで再生してください。パソコンで再生される場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください、ご不明な点はメーカーへお問い合わせください。
- ・ディスクの両面とも、指紋、汚れ、傷等をつけないように取り扱ってください。また、ディスクに対して大きな負荷がかかると微小な反りが生じ、データの読み取りに支障をきたす場合がありますのでご注意ください。
- ・ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布を軽く水で湿らせ、内側から外側に向かって放射線状に軽く拭き取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。
- ・出版社の承諾を得ずに、本CDを無断で複写・複製する行為は法律で禁止されています。
- ・本CDの内容を無断で改変したり、第三者に譲渡・販売することや営利目的で使用することは法律で禁止されています。

©2014 Lisa Vogt Printed in Japan

ISBN978-4-479-79440-0

乱丁・落丁本はお取替えします。

<http://www.daiwashobo.co.jp>



contents

はじめに	3
英語を習得するために	8
この本の見方	10
この本の使い方	12

Part 1

状況やできごとを伝えるフレーズ

1 「状況」を伝える表現	14
2 「身体の調子」を伝える表現	16
3 「義務」を伝える表現	18
4 「並列」を伝える表現	20
5 「まもなく～」の表現	22
6 「する」「行く」を伝える表現	24
7 「使役・不本意」を伝える表現	26
8 「目的」を伝える表現	28
9 「理由」を伝える表現	30

Part 2

説明するためのフレーズ

10 「変化」を伝える表現	34
11 「仮定」を伝える表現	36
12 「推測」を伝える表現	38
13 「事実」を伝える表現	40
14 「存在」を伝える表現	42

15 「比較」にまつわる表現	44
16 「最上級」を伝える表現	46
17 「過度」を伝える表現	48
18 「限定」を伝える表現	50
19 「強調」を伝える表現	52
20 「量」を伝える表現	54
21 「能力」を伝える表現	56
22 「可能性」を伝える表現	58
23 説明する表現	60
24 「伝聞」を伝える表現	62
25 「一般論」を伝える表現	64
26 「形容」を伝える表現	66

Part 3

考えや感情を伝えるためのフレーズ

27 「同意」にまつわる表現	70
28 「了承」にまつわる表現	72
29 「断る」表現	74
30 「否定」にまつわる表現	76
31 「驚き」にまつわる表現	78
32 「意向」にまつわる表現	80
33 「印象」にまつわる表現	82
34 「考え」にまつわる表現	84
35 「婉曲」にまつわる表現	86
36 「ポジティブ」な表現	88

37 「ネガティブ」な表現	90
38 「感情」にまつわる表現	92

Part 4

疑問を解消するためのフレーズ

39 「Is it～?」「Do you～?」で伝える表現	96
40 「状況確認」を伝える表現	98
41 「お伺い」を伝える表現	100
42 「誘いかけ」を伝える表現	102
43 「依頼」を伝える表現	104
44 「許可」を伝える表現	106
45 「疑問」にまつわる表現	108
46 「場所」にまつわる表現	110
47 「誰」にまつわる表現	112
48 「なぜ」にまつわる表現	114
49 「何」にまつわる表現	116
50 「いつ」にまつわる表現	118

Part 5

時間の表現にまつわるフレーズ

51 「進行中」にまつわる表現	122
52 「過去」にまつわる表現	124
53 「過去と違う今」を伝える表現	126
54 「過去と同じ今」を伝える表現	128
55 「まもなくの未来」を伝える表現	130
56 「確定していない未来」を伝える表現	132

56 パターンの復習

1 & 2 の復習.....136	29&30 の復習164
3 & 4 の復習.....138	31&32 の復習166
5 & 6 の復習.....140	33&34 の復習168
7 & 8 の復習.....142	35&36 の復習170
9 &10 の復習144	37&38 の復習172
11&12 の復習146	39&40 の復習174
13&14 の復習148	41&42 の復習176
15&16 の復習150	43&44 の復習178
17&18 の復習152	45&46 の復習.....180
19&20 の復習154	47&48 の復習182
21&22 の復習156	49&50 の復習184
23&24 の復習158	51&52 の復習186
25&26 の復習160	53&54 の復習188
27&28 の復習162	55&56 の復習190

column

Part 1 の表現を使って.....32
Part 2 の表現を使って.....68
Part 3 の表現を使って.....94
Part 4 の表現を使って.....120
Part 5 の表現を使って.....134

つぶやき 英語練習帳

リサ・ヴォート

Lisa Vogt



大和書房

はじめに

英語の語学研修で、「5日間日本語をしゃべってはいけない」という取り組みをやったことがありました。参加者の中でも、シャイな女性が身ぶり手ぶりを交えながら、一生懸命コミュニケーションをとろうとする様子を今でも覚えています。単語の羅列になったり、文法的に間違っていたりしたかもしれませんが、その場の人たちは彼女に対して拍手喝采。「正しい英語を話すこと」より「間違っている、伝えようという思い」がきちんと伝わっていた瞬間でした。

「英語を話せるようになりたい」と思っている読者のみなさんに私が伝えたいのは、第一にこわがらずにしゃべること。そして、2つめに「既に持っている単語」を使ってしゃべることです。「英会話」というと、また一から何か勉強をしなければという気分になるかもしれませんが、みなさんは既にたくさんの英語を知っているはず。部屋の中を見渡してみてください。ソファ、カーテン、テーブル、スプーン、クロス……。そう、英語は身のまわりにあふれているのです。新しい単語をたくさん覚えようとしなくても、いま知っている単語だけでも、かなりの会話ができます。この本では、さらにそれを補うために、会話の中でよく出てくることばを56のパターンで紹介しています。これらのパターンも、あなたの身のまわりにある英語と同じくらい浸透すれば、かなりいろいろな場面で使えるはず。そういう意味で、この本があなたの英会話への苦手意識、ハードルの高さをやわらげる1冊になればいいなと願っています。

リサ・ヴォート



contents

はじめに	3
英語を習得するために	8
この本の見方	10
この本の使い方	12

Part 1

状況やできごとを伝えるフレーズ

1 「状況」を伝える表現	14
2 「身体の調子」を伝える表現	16
3 「義務」を伝える表現	18
4 「並列」を伝える表現	20
5 「まもなく～」の表現	22
6 「する」「行く」を伝える表現	24
7 「使役・不本意」を伝える表現	26
8 「目的」を伝える表現	28
9 「理由」を伝える表現	30

Part 2

説明するためのフレーズ

10 「変化」を伝える表現	34
11 「仮定」を伝える表現	36
12 「推測」を伝える表現	38
13 「事実」を伝える表現	40
14 「存在」を伝える表現	42

15 「比較」にまつわる表現	44
16 「最上級」を伝える表現	46
17 「過度」を伝える表現	48
18 「限定」を伝える表現	50
19 「強調」を伝える表現	52
20 「量」を伝える表現	54
21 「能力」を伝える表現	56
22 「可能性」を伝える表現	58
23 説明する表現	60
24 「伝聞」を伝える表現	62
25 「一般論」を伝える表現	64
26 「形容」を伝える表現	66

Part 3

考えや感情を伝えるためのフレーズ

27 「同意」にまつわる表現	70
28 「了承」にまつわる表現	72
29 「断る」表現	74
30 「否定」にまつわる表現	76
31 「驚き」にまつわる表現	78
32 「意向」にまつわる表現	80
33 「印象」にまつわる表現	82
34 「考え」にまつわる表現	84
35 「婉曲」にまつわる表現	86
36 「ポジティブ」な表現	88

37 「ネガティブ」な表現	90
38 「感情」にまつわる表現	92

Part 4

疑問を解消するためのフレーズ

39 「Is it～?」「Do you～?」で伝える表現	96
40 「状況確認」を伝える表現	98
41 「お伺い」を伝える表現	100
42 「誘いかけ」を伝える表現	102
43 「依頼」を伝える表現	104
44 「許可」を伝える表現	106
45 「疑問」にまつわる表現	108
46 「場所」にまつわる表現	110
47 「誰」にまつわる表現	112
48 「なぜ」にまつわる表現	114
49 「何」にまつわる表現	116
50 「いつ」にまつわる表現	118

Part 5

時間の表現にまつわるフレーズ

51 「進行中」にまつわる表現	122
52 「過去」にまつわる表現	124
53 「過去と違う今」を伝える表現	126
54 「過去と同じ今」を伝える表現	128
55 「まもなくの未来」を伝える表現	130
56 「確定していない未来」を伝える表現	132

56 パターンの復習

1 & 2 の復習.....136	29&30 の復習164
3 & 4 の復習.....138	31&32 の復習166
5 & 6 の復習.....140	33&34 の復習168
7 & 8 の復習.....142	35&36 の復習170
9 &10 の復習144	37&38 の復習172
11&12 の復習146	39&40 の復習174
13&14 の復習148	41&42 の復習176
15&16 の復習150	43&44 の復習178
17&18 の復習152	45&46 の復習.....180
19&20 の復習154	47&48 の復習182
21&22 の復習156	49&50 の復習184
23&24 の復習158	51&52 の復習186
25&26 の復習160	53&54 の復習188
27&28 の復習162	55&56 の復習190

column

Part 1 の表現を使って.....32
Part 2 の表現を使って.....68
Part 3 の表現を使って.....94
Part 4 の表現を使って.....120
Part 5 の表現を使って.....134

英語を習得するために

「インプット」と「アウトプット」、両方大切！

言語習得には、「インプット」と「アウトプット」の両方が必要です。「インプット」とは、「読む・聴く」、「アウトプット」は「書く・話す」。日本では中学校高校と6年間英語の勉強をしますが、「読む・聴く」は蓄積があるのに、「書く・話す」の機会が少ないと感じます。

英会話のパイプを通そう

英語を話すときには2つの基準があります。それは、正確さとスラスラ度。日本のみなさんは、正確さは高得点だけれど、街でネイティブの人に声をかけられたときに、単語がスラスラ出てこない——そんなふうに感じている人が多いのではないのでしょうか。例えば、その冬はじめて暖炉を使うときには、上から下まできれいに掃除をする必要があります。そうでないと、煙が部屋に立ち込めてしまうからです。そのパイプの流れをスムーズにすること。これがスラスラ度を上げるといことと近いと思います。そしてこれには、練習あるのみ！ 1番大切なのは、英語を話す人と実際に話をして、コミュニケーションすること。とにかく回数をこなし、場数を踏むこと。これが、スラスラ度を上げるための1番の方法です。

「自分の好きなもの」なら英語にできる

とはいえ、いきなりコミュニケーションと言われても、どうすればいいかわからないかもしれません。まずは、「自分の好きなもの」を起点に始めると、スムーズにいくと思います。猫が好きなら、猫カフェにいる外国人に話しかける。音楽が好きなら、フェスで出会った外国人に話しかける。自分の会話能力が心配でも、共通の好きなモノがあるだけで、何も接点がない人よりはぐんと話しやすいはず。これは、とても大事なことです。

そのほかにも、たくさん方法があります。外国人を見たら必ず声をかける。インターネットで英語でつぶやいてネイティブの人とネット上でインタラクティブなやりとりをする。観光地となっているような外国人がいっぱいいるエリアに行く。英語で日記を書く。このときには、センテンスの正確さより、とにかく量をこなすことです。さまざまな方法がありますが、大事なのは「自分から英語圏の人や文化に飛び込んでいくこと」。

この本は、その本番に臨むための予習トレーニング本だと思ってください。

「Why do you want to speak English?」

長い間、漫然と英語を勉強しているけれど上達の兆しがない、身についたという感覚がないという人はもう一度「なぜ英語ができるようになりたいのか」「英語を使って何をしたいのか」ということを考えてみるといいかもしれません。「TOEICで高得点を出したい」、「世界中を旅して、英語で現地の人と触れ合いたい」、「単位をとるための最低限の勉強」、「将来外資系に入って、英語を使って仕事をしたい」、「日本に来る外国人に日本のよさを英語で伝えたい」、「同じ趣味を持つ人たちと国を超えて英語で仲良くなりたい」。きっとそれぞれ違いますよね。それがはっきりすれば、自分の目指すレベルも見えてくると思います。

自分のラーニングスタイルを理解する

そして、最後に「自分はどんな方法なら1番スムーズに英語を学べるか」ということを改めて考えてみるといいかもしれません。「インプット」と「アウトプット」のバランスは50% 50%が理想的ですが、「読む・聴く」の2つのバランスは？というと、人それぞれ。いくら読んでも頭に入っていないという人が、数回書けばすぐ覚えられたということもありえます。まずは、「読む」「書く」「聴く」「話す」のひと通りをやってみて、特に自分に向いているなと感じる部分に比重を置いてやっていくという方法もいいと思います。

この本の見方

Part 1 & Part 5

基本のインプットにあたる部分です。さまざまなシチュエーションで使える便利な表現を 56 パターン紹介していきます。

ふたばマークのフレーズは初心者向けのシンプルなフレーズ。まずはここから覚えましょう。一番最初に紹介するフレーズは、フレーズ自体も短いので丸暗記したいところ。

お花のマークのフレーズはちょっと表現が長かったり、丁寧な表現だったりというもので中級としています。意味合いとしては初心者フレーズと同様のものを紹介しています。

53 「過去と違う今」を伝える表現

初心者 no longer = もうや～ではない

The bus no longer stops here.

バスはここにはもう止まりません。



この表現を使って

Shelly no longer has curly hair.

シェリーはもうくるくるした髪ではない。

Dad no longer smokes.

パパはもう煙草は吸わない。

It's no longer empty.

もう空っぽではない。

The software is no longer supported.

そのソフトウェアは、もうサポートされていない。

学ぶためのヒント



「no longer」も「anymore」も意味合いとしては同じで、「過去はそうであったけれど、今は違う」ということを意味する表現です。「anymore」の場合には、その前に打ち消しの「not」がセットで入ります。

中級 anymore = もう～ではない

The express train does not stop here anymore.

その急行列車はもうここには止まりません。



この表現を使って

Mother does not go shopping at that store anymore.

母はもうあの店では買い物しません。

Sorry, but I do not love you anymore.

ごめんなさい。でももうあなたのことが好きじゃないの。

The cookies are not fresh anymore.

クッキーはもう作りたてではなくなっている。

I do not jog in the morning anymore.

もう朝のジョギングはしていません。

すっかり 56 のパターンが頭に入ったら、それを今度は実践したいところ。フレーズのポイントや解説をしています。

基本のフレーズと同様の表現を使って、さまざまな文例を紹介しています。

part 5 時間的表現にまつわるフレーズ 127